

# 東京都立 立川高校

## 2022年新設の「創造理数科」 イノベーション人材を育成

明治34年創立の都内屈指の伝統校である本校は、長きにわたって「質実剛健」「自主自律」を校風とし、社会のあらゆる分野で活躍するリーダーを輩出してきました。卒業生による同窓会から、給付型の奨学金や留学費用、関東・全国大会への旅費・経費補助などのさまざまな支援をいただけることも、伝統校の強みの一つと言えるでしょう。

本校は2022年4月より、都立高校で初めて、新たな学科「創造理数科」を設置しました。今後の社会では理数系分野を含めた幅広い教養と広い視野を持つ人材が求められるという背景から、「新しい価値」イノベーションを生み出すことのできる人材の育成」を目的として打ち出しました。そして、単に理数教育にのみ重点を置くのではなく、この目的に沿うように、学科名を「創造理数科」と定めたのです。これまで本校の普通科ではグローバルリーダーの育成を目指してきましたが、創造理数科ではそれに加え、海外も視野に入れて将来にわたって研究する人材など、イノベーションを生み出せる生徒を育てることを目標として据えています。このように、主体的かつ創造

的な学習への意欲を高め、論理的思考力・健全な批判力を養い、世界に発信できるリーダーとしての素養を獲得させることを学校の使命として捉え、さまざまな教育活動を実践しています。

## ハイレベルな学びを可能にする 充実の進学指導と探究活動

本校の学習面における特色は二つあり、一つ目は進学指導重点校として進学指導を充実させていることです。難関国公立大学進学を目指すカリキュラムの下で質の高い授業を実践するのはもちろん、受験対策のための補習・補講の実施、放課後や夜間の自習室開放など、受験に向けて万全の学習環境を整備しています。個別面談や卒業生の話を聞く機会を設けるなど、第一志望を諦めない進路指導も特長です。そして何より、高い目標を持ち切磋琢磨する仲間がたくさんいる環境こそが、進学指導重点校としての本校の最大の魅力です。普通科は、文系・理系を問わずあらゆる大学・学部・学科に対応できるカリキュラムで、高2までは芸術I以外は全員が共通科目で学び、高3になると各自の進路希望に応じて必要な科目を選択します。創造理数科では、専門学科において開設される教科「理数」の特色ある科目（理数数学I・II、理数物理、理数生物など）を学習。理数探究基礎と理数探究とを合わせて、単位数が卒業までに5単位あることも特色で、たっぷり時間をかけて、自ら設定した課題に取り組みることができます。さらに本校は「英語教育研究推進校」にも指定

されています。外部検定による生徒の英語力判定調査などを行いながら、指定校としての取り組みを進めています。

二つ目の特色は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の取り組みを基盤とする探究活動が充実していること。本校はSSH指定校として、「課題研究」「英語教育」「本物体験」「教科教育」という4本柱を中心に、探究的な学習活動を推進しています。優れた研究成果を残す生徒も多く、今年も本校の生徒が国際生物学オリンピックの日本代表に選出され、見事銀メダルを獲得しました。さらに、創造理数科ならではの探究活動も。自然界をさまざまな視点で理解することを目的とした「八丈島でのフィールドワーク研修旅行」や、STEAM教育の「Art」に焦点を当てた、東京大学先端科学技術研究センターとの連携企画である「アートセッション」などは本校ならではの活動です。

## 約8割の生徒が国立大学志望 右肩上がりの合格実績

生徒の多くは国立大学志望で、その人数は年々増えています。今春の卒業生320名中244名が、共通テストを



統括校長  
鈴木 宏治 先生



### 学校プロフィール

- 所在地 〒190-0022 東京都立川市錦町2-13-5
- TEL 042-524-8195
- URL www.tachikawa-h.metro.tokyo.jp

5教科7科目で受験しました。現役での国立大学合格者は138名、うち難関国立大学（東京・京都・東京工業・一橋・国立大医学部医学科）には17名、国立大医学部医学科には3名が現役合格と、いずれも前年度よりも伸びています。

学習だけでなく、学校行事や部活動にも全力で打ち込みます。自主自律の精神を尊重する本校では、体育祭、立高祭（文化祭）、合唱祭、演劇コンクールなどの行事を全て生徒が主体となって企画・運営しています。多くの生徒が部活動に参加し、運動部が19種類、文化部が17種類、同好会が2種類と多種多様です。兼部する生徒もたくさんいます。